

(別紙)

遺産目録

被相続人氏名 家裁 花子

作成日 平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

A 不動産 ※記載した土地・建物等全ての不動産について、連続した通し番号を振ってください。

(土地) ※登記事項証明書のとおり書き写してください。

番号	所在	地番	地目	地積(m ²)	持分	固定資産税評価額	持分×固定資産税評価額	土地の建物の有無(有の場合、どの建物があるのか(それが遺産でない場合には所有者も記載)・無の場合、土地の用途)、備考	書証番号
1	大阪市中央区〇〇1丁目	〇番〇	畑	100.53m ²	1	●●●万●●●●円	●●●万●●●●円	■建物無し 貸駐車場として使用	甲1
※ 2	大阪市北区〇〇2丁目	〇番〇	宅地	212.00m ²	2/3	●●●●万●●●●円	●●●万●●●●円	□建物無し 建物3の敷地 共有持分 申立人1/3	甲2

(建物) ※登記事項証明書のとおり書き写してください。

※未登記の場合は、固定資産税評価証明書のとおり書き写してください。

番号	所在 (※住居表示が異なる場合は、併記する。)	家屋番号 (符号)	種類 構造	床面積(m ²)	持分	固定資産税評価額	持分×固定資産税評価額	敷地占有権原 (敷地が遺産でない場合には敷地の所有者も記載)、備考	建物利用者	書証番号
※ 3	□住居表示は同じ 大阪市北区〇〇2丁目〇番地〇 (住所:大阪市北区〇〇2丁目〇番〇号)	〇番〇	居宅 木造瓦葺2階建	1階 65.07m ² 2階 43.75m ²	2/3	●●●万●●●●円	●●万●●●●円	所有権 共有持分 申立人1/3	申立人	甲3
※	□住居表示は同じ 附属建物	(符号1)	車庫 木造亜鉛メッキ鋼板 葺平家建	25.58m ²	同上	●●万●●●●円	●万●●●●円	同上	同上	同上
※ 4	□住居表示は同じ 大阪市西区〇〇3丁目〇番地〇 (住所:大阪市西区〇〇3丁目〇番〇号)	未登記	専用住宅 木造瓦葺平家建	81.77m ²	1	●●万●●●●円	●●万●●●●円	借地権 (所有者 家事次郎)	空き家	甲4

(区分所有建物・マンション) ※登記事項証明書のとおり書き写してください。

※	(一棟の建物の表示)所在(※住居表示が異なる場合は、併記する)／建物の名称	大阪市淀川区〇〇4丁目〇番地〇／家裁マンション			持分	1	固定資産税評価額	●●●万●●●●円
5	(専有部分の建物の表示)家屋番号／建物の名称／種類・構造／床面積(m ²)	〇〇4丁目〇番〇の〇／101号／居宅・鉄筋コンクリート造1階建／1階部分65.85m ²					持分×固定資産税評価額	●●●万●●●●円
	(敷地権の目的である土地の表示)土地の符号／所在及び地番／地目／地積(m ²)	1／大阪市淀川区〇〇4丁目〇番〇／宅地／950.27m ²					建物利用者	空き家
	(敷地権の表示)土地の符号／敷地権の種類／敷地権の割合	1／所有権／150387分の3058					書証番号	甲5

(地上権または借地権その他用益権(使用借権を除く)) ※提出書証のとおり書き写してください。

※	(対象となる土地)所在／地番／地目／敷地権の対象となる地積(m ²)(※土地の地積ではない)	大阪市西区〇〇3丁目／〇番〇／宅地／101.23m ²			固定資産評価による所有権価額 (ただし、敷地権の対象となっている分に限る)	●●●万●●●●円
6	敷地権の種類	借地権	土地の所有者	家事 次郎	返還される敷金額	●●万円
	どの建物の目的となっている敷地権か	建物4の敷地	期限	平成〇〇年〇〇月〇〇日	書証番号	甲6

不動産評価額合計 ●●●●万●●●●円

※ 本書面の写しは相手方に送付します。
 ※ 裏付けとなる資料を添付してください。

B 国債, 株式, 社債(ただし, 投資信託は除く。) ※金融機関発行の証明書等のおりに書き写してください。

番号	銘柄 (※証券がある場合は, 証券の番号も記載)	数量 (株数, 口数等)	取扱金融機関/口座番号	現在の評価額合計 (数量×1株(1口)当たりの評価額)	書証番号
1	分離適格振替国債/10年/第〇〇〇回	4口 (額面1口10万円)	△△銀行△△支店/〇〇〇〇	42万円 (平成〇年〇月〇日時点)	甲7
2	〇〇株式会社 普通株式	100株	□□証券□□支店/〇〇〇〇	●●●万●●●●円 (平成〇年〇月〇日時点)	甲8
				国債等合計額	●●●●万●●●●円

C その他の遺産(信用金庫等への出資金, 動産, 被相続人が死亡時に現に有していた現金等)

※金融機関発行の証明書等のおりに書き写してください。

番号	種目	数量(口数, 円等)	保管者または所在地	現在の評価額合計	書証番号
1	出資金(〇〇信用金庫〇〇支店)	2000口		2000円	甲9
2	現金	80万円	保管者 申立人	80万円	甲10
3	金/商標〇〇〇/〇〇g/ 金塊番号〇〇〇	1本	保管者 相手方家裁二郎	100万円	甲11
				その他の遺産の評価額合計	180万2000円

D 預貯金(定期, 定額預貯金を含む。)

※金融機関発行の証明書等のおりに書き写してください。

番号	金融機関・支店名	種類	口座番号・記号番号	死亡時の残高	現在残高	書証番号
1	ゆうちょ銀行	通常貯金	〇〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇	50万3275円	25万3065円	甲12
2	〇〇銀行〇〇支店	定期預金	〇〇〇〇〇〇〇	100万円	101万1589円	甲13
				預貯金合計額		126万4654円

※預貯金合計額は, 現在残高により計算してください。

A~Dの合計額	●●●●万●●●●円
---------	------------

E 投資信託

※金融機関発行の証明書等のおりに書き写してください。

番号	銘柄	数量 (口数)	取扱金融機関/口座番号	現在の評価額合計 (数量×1口当たりの評価額)	単独で相続分に応じた払戻しが 可能	書証番号
1	MMF	1000口(平成〇年 〇月〇日時点)	△△銀行△△支店/〇〇〇〇	1000円	○	甲14
2	■■オープン	300万口(平成〇 年〇月〇日時点)	□□証券□□支店/〇〇〇〇	●●●万●●●●円	×	甲15

※証券会社に対して, 単独で相続分に応じた払戻しが受けられるか確認してください。

投資信託合計額	●●●●万●●●●円
---------	------------

F 保険契約の解約返戻金, 保険金(ただし, 被相続人以外の者が受取人になっているものは除く。)

※保険会社発行の保険証書等のおりに書き写してください。

番号	種目/保険会社・保険の種類・保険証券番号・被保険者・契約者	金額	書証番号
1	〇〇生命保険相互会社・〇〇生命保険・〇〇〇〇号・被保険者〇〇〇〇・契約者被相続人	●●●万円	甲16
		保険契約の解約返戻金, 保険金合計額	●●●万円

G 貸金等の債権 ※原則, 審判の対象となりません。

※提出書証のおりに記載してください。

番号	種目/債務者	金額	書証番号
1	貸金/債務者〇〇〇〇・貸付日平成〇年〇月〇日	100万円	甲17
		貸金等の債権合計額	100万円
		A~Gの遺産総合計	●●●●万●●●●円